施策評価シート (評価対象年度：令和元年度)

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	6 子育て家庭への経済的支援	② 施策番号	4405
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	1 子どもと大人が夢や希望を持ち、ともに成長できるまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 子育てしやすい環境の整備		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
健康福祉部	生活福祉課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	0歳から15歳の児童を子育てする世帯
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	児童手当による経済的負担の軽減、子育て短期支援事業を通じた肉体的・精神的負担の軽減を通して、安心して子どもを産み育てられる環境づくりが推進される。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	平成22年のわが国の合計特殊出生率は、1.39と前年を0.02ポイント上回っているものの、現在の人口を維持するために必要な水準(人口置換水準)の2.08を大きく下回っており、出産世代の人口減少による出生数の減少は避けられない課題となっています。このような社会状況にあっても、すべての子どもの育ちを支え、安心して子育てができる環境、次代を担う子どもが健やかに成長していく環境を整備していくことは、行政はもとより、企業、地域など社会全体が連携して取り組んでいく必要があります。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 児童手当費 計算式	千円	児童を養育している方に児童手当を正確に支給すること。
② 計算式		
③ 計算式		

指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考	
① 児童手当費	千円	目標値						
		実績値	1,151,890	1,107,320	1,065,960	1,066,200	—	
		達成率						
②		目標値						
		実績値						
		達成率						
③		目標値						
		実績値						
		達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1 児童手当事業	児童手当費	千円	#####	#####	#####	1,159,756	1,073,516	1,074,070	A	ア	◎
2 乳幼児ごみ袋配付事業	ごみ袋給付費	千円	1,944	2,088	2,280	2,625	2,739	2,931	A	ア	
3 助産施設入所事業	入所件数	件	0	3	5	127	2,874	5,224	A	ア	
4 子育て短期支援事業	入所件数	件	1	0	1	149	102	211	A	ア	
5 子ども医療助成事業	子ども医療助成費	千円	148,046	146,643	161,110	158,273	157,401	171,383	A	ア	○
6 未熟児養育医療給付事業	養育医療給付費	円	290	1,212	1,500	451	1,373	1,654	A	ア	○
7											
8											
計	6					1,321,381	1,238,005	1,255,473			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	各種手当については、安心して子育てをするために重要な経済的支援事業であるため、安心して次世代の担い手を育てるために継続して実施していく必要がある。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	福祉医療費助成制については、福祉的配慮の観点から支援を行ってきましたが、子育て支援という新たな観点からその適応年齢が拡充している。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	地域社会全体で子育て世帯を支援するためにも、市民との協働が必要であると考えます。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	子育て世帯への経済的支援については、子育て、及び安心して出産ができることへの経済的支援も重要であると考えます。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	安心して子どもを産み育てることができる子育て環境づくりと、子育て支援の取組みを一層充実するためにも子育て家庭への経済的な支援、特に医療の助成を一層充実していく必要がある。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	A	安心して子どもを産み育てることができる子育て環境づくりと、子育て支援の取組を一層充実するためにも子育て家庭への経済的な支援を一層充実していく必要がある。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	—
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	—
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	—

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	子育て世帯への経済的支援に向けた各種事業の実施により適切に取組が行われている。 子育てしやすい環境整備に寄与する施策として、引き続き適切に対応を進められたい。	